

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	未定		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
(J科。担当者未定)	

【主題および達成目標】
「コンピュータはソフトがなければただの箱」といわれるように、コンピュータはプログラム(ソフトウェア)によっていろいろな機能を実現しています。この機能を実現するための方法論をプログラミングの課題を通して学びます。

【前もって履修しておくべき科目】
コンピュータリテラシー

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】

【授業内容とその進め方】
<p>毎回その時間のテーマについて簡単に講義したのち、実際にコンピュータを用いた演習を行います。与えられた課題について報告書を作成し、次の授業に提出してもらいます。各回のテーマは概ね以下のようになっています。</p> <p>...</p> <p>第1-6回 概説、環境設定、コンパイルの練習のあと非常に簡単なプログラムから、反復構造や、選択構造のあるプログラムの作成を通して、基本的なプログラムの組み立て方について学ぶ。</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

第7-15回

型や変数についてさらに詳細な理解を深める。
少し高度なプログラミング技術について学ぶ。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

演習課題に関して提出された報告書をもとに評価を行ないます。演習への取り組み方、出席状況を考慮します。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

プログラミング言語自体の学習ではなく、プログラミングとは何かということ进行学习します。現代は、あらゆる所にコンピュータが使われています。将来、自分でプログラムを作ることがないとしても、コンピュータに関わることは避けられないでしょう。コンピュータの動作を規定しているプログラムを理解することにより、コンピュータを過信したり、拒否したりせずに、正しく評価して、うまく利用することができるようになるでしょう。コンピュータやプログラムを理解するためにも、プログラムの作りかたを学ぶことは大変役に立つと考えられるのでいままで、あまり興味を持っていなかった学生も、積極的に取り組んで下さい。

【その他】